

### 差別のない明るく 豊かな社会をつくろう

—人権週間12月4日～10日—

12月4日から10日までは「人権週間」です。

この「人権週間」にあたって、私たち一人ひとりが、人権について再認識し、差別のない明るい豊かな社会をつくりましょう。

なお、みなさんの生活のなかで、これは人権問題ではなからうかと感じたり、法律上どのようになるか分からないためお困りのときは、山口地方務局萩支局または、次の人権擁護委員の方々にご相談ください。

相談は無料で、秘密は厳守します。

◇山本義郎 深川板持3区 ②0791

◇杉山 茂 仙崎洲崎町 ⑥0510

◇河村忠嘉 深川板持2区 ②2692

### お父ちゃんがんばって お母ちゃん

11月1日 深川・仙崎地区の体育祭に続いて、3日には俵山地区の産業祭がそれぞれ開催されました。

各地区のプログラムは綱引きやボール送りなど、みんなで力を合わせた競技が多く、お父さんやお母さんが出場すると大きな声で、ガンバッテと声援をおくっていました。

(写真上は仙崎体育祭。下は深川地区体育祭)



### 技能士通信講座

#### ◇訓練科

- ・一級：機械加工、板金、配管
- ・二級：機械加工、建築、左官
- 塗装、洋服など

#### ◇受講資格

実務経験のある方(一級は技能検定受講資格のある方)

#### ◇訓練期間

標準一か年(いづれも受付ます。)

#### ◇受講料

- 一級：八、〇〇〇円
- 二級：六、〇〇〇円

※受講案内等、詳しくは小野田市西高泊一六の一、小野田総合高等職業訓練校(〇八三六八)三―三三三三へおたずねください。

### 土地取引には届出を

一定の面積以上の土地取引を行う場合は、国土利用計画法により、あらかじめ県知事に届出しなければなりません。

長門市では、五、〇〇〇㎡以上のまとまった土地の売買、交換、代物弁済などに届出が必要です。届出をしないと法律で罰せられる、税法上の特典が受けられなくなる場合があります。

届出は市が窓口になっています。詳しいことは、市役所企画課へおたずねください。

☎②1111内線268



この写真は  
大畑小学校校友会と  
児童会の協力によって  
花尾山の頂上に建立さ  
れた詩碑

## 心のふるさと花尾を守る

大畑小学校教頭 福永孝子

深川湯本の南なる  
山の王者の花尾山  
神の工か北齋の  
筆が飛んだる墨絵富士  
故有田鶴堂先生の筆跡あざやかに、郷土ゆかりの詩人児玉花外の詩を刻んだ黒御影の詩碑が台石の上に据えられたとたん、山頂の秋気をふるわせて高らかにひびく万

いろいろ出された案の中から、「心のふるさと花尾山をいつまでも美しく」という立て札と、山を守るケルンのようなものを作りたい、ということがあげられました。そのケルンが詩碑となったのです。が、そうなる子供たちの力だけで五百キロに及ぶ資材を、六六九メートルの山頂に運び上げること

に入れて運びました。約百キロの碑石と五十キロの台石、それに四十五キロくらいの水は、お父さんたちが運び上げてくださいました。全部で五百キロにもなる資材、それは、機械万能的御時世のこと、お金をかけて機械で運搬すれば、たいした量ではないかもしれないけれど、八十一名の子供たちと七

さんたちに「おじさん、頑張ってください」と声援をおくったり、花尾の里にひびくとばかりに校歌を声高らかに歌ったり、本当に一つ心に結ばれた一日でした。

こうして、大畑小児童会及び青年会の願いが実現したのは、暖いお心で援助してくださいました多くの方々のお陰であることを深く感謝しております。特に碑石や台石を寄付し、更に詩を刻むことまでも快く奉仕してくださった吉田石材店さん、貴重な資料や細かい助言まで親切に提供してくださった羽仁先生、祝電や色紙で励ましてくださった山口市の白藤さんなど本

歳と拍手。この大仕事の推進力として東奔西走、夜もねむれぬほどに心を砕き意欲を燃やしてくださいました育友会の蒲会長さんと、児童会の奥野先生の感無量の顔にきらりと光る涙。

「花尾山が荒れているそうだが、自分たちの手で花尾山を守る方法はないものか。」と児童会で話し合ったのは運動会の直後でした。

は到底不可能です。幸い大畑小の伝統的行事の親子花尾山登山があるので、子供たちの手に余る資材は親の力で、育友会の援助を頂いて実現の運びとなったのです。低学年の子供は一キロの砂、中学年は二キロのセメント、高学年は三キロの砂、お母さんたちは三キロの砂利や四キロくらいの石をそれぞれお弁当と一緒にリュック

十名の父母や先生たちが、一歩一歩を踏みしめ汗を流して肩と足で運び上げた資材なのです。「ふるさと山、花尾山をいつまでも美しく。」と願う子供たちの心を育て、山を守るために。六つの縦割りの班で上級生は下級生を励まし、いたわりながらまとまって登り、頂上についてからは、重い石を運び上げられるお父

花尾山頂の詩碑建立は、子供たちの心ふるさとを意識づけ、父母の偉大さと協力の尊さを実感として感じさせてくれたと信じています。

(投稿)

☎②1111内線268